

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
固洩剂 洩精止遺剂 3		
<p>そうひょうしょうさん 桑 螵 蛸 散</p>	<p>調補心腎・固精止遺・固脬縮尿</p>	<p>桑螵蛸・遠志・菖蒲・竜骨・人参・茯神・当帰・醋炙亀板各等分 粉末にし、1日3回6gずつ服用する。 各6gずつを水煎し服用してもよい。</p>
<p>本草衍義</p>	<p><主治> 心気不足、腎虚不摂 頻尿、遺尿、尿失禁、遺精、滑精、ぼんやりする、健忘、舌質が淡、脈が細で無力など。</p> <p><病機> 心気不足と腎虚不摂による心腎不交である。 心気が不足して神を養えないので、心神恍惚、健忘がみられる。腎虚不摂で膀胱（脬）を約束できないと頻尿、遺尿、尿失禁が生じ、精関を固摂できないと遺精、滑精が現われる。舌質が淡、脈が細で無力は、腎虚を示す。</p> <p><方意> 固腎洩精止遺を主体に、補腎、益気安神して心腎を交通させる。 補腎益精、固脬止遺の桑螵蛸が主薬で、斂心安神、洩精の竜骨と洩陰補腎、潜陽の亀板が補佐する。人参・当帰で益気養血し、茯神で安神し心気を補って心神を安定させる。心神定志の遠志・菖蒲を加えて心腎を交通させる。全体で補腎補益、洩精止遺、固脬縮尿、補心養神の効能が得られ、心腎を調補して、交通させることが出来る。</p> <p><参考> 下焦火盛、湿熱困擾による頻尿、遺尿には禁忌である。</p>	